

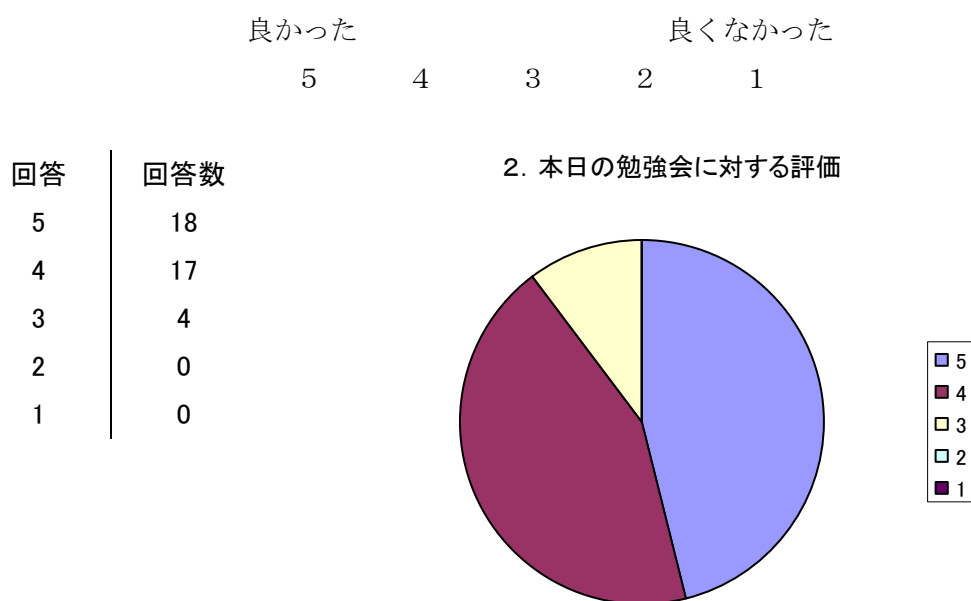
錯体化学若手の会北海道・東北支部第4回勉強会 アンケート 集計結果

会期：平成24年11月10日（土）13時～18時

会場：東北大学大学院理学研究科化学専攻 G-COE 棟 第四講義室

参加者数：68名（東北大44名，山形大23名，弘前大1名）

2. 本日の勉強会に対する評価（5段階）



具体的なご意見・ご感想などございましたらお書きください。

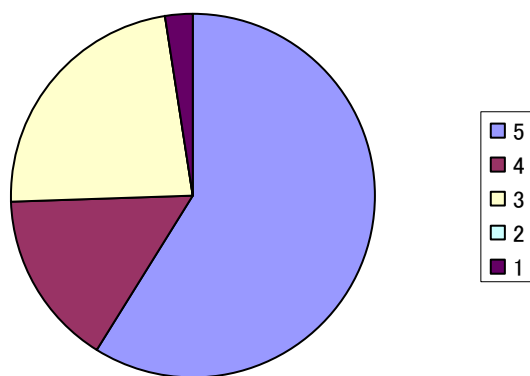
- ・講演者，質問者の声が聞き取りづらかったため，マイクがあると良い。
- ・コアタイムが若干長く感じた。
- ・学生講演者をもう少し増やしても良いと感じた。
- ・平日に開催してほしかった。
- ・場所がわかりにくかった。
- ・アブストラクトなど，講義に関する情報がほしかった。
- ・座長が少し大変そうだった。
- ・学生からの質問が少なかったのが残念だった。
- ・様々な分野の講演があって良かった。
- ・休憩が多かった（4人講演，15分休憩，3人講演くらいがちょうどいい）。

3. 勉強会の開催時期について

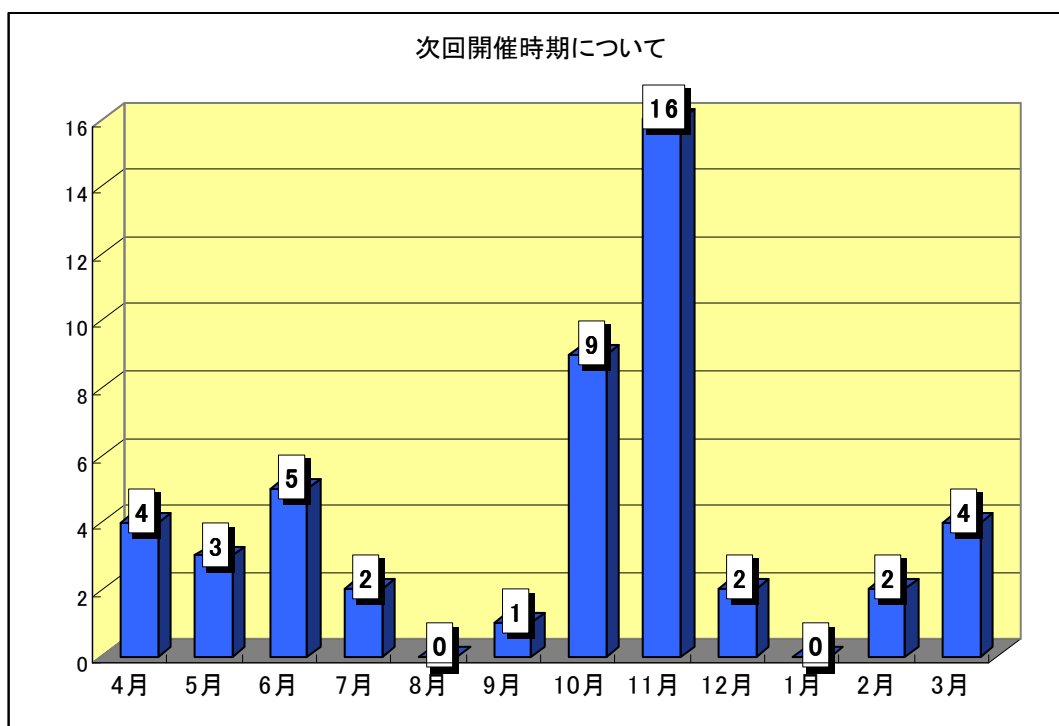
回答	回答数
5	23
4	6
3	9
2	0
1	1

適切 5 4 3 2 1 適切でない

3. 勉強会の開催時期について



次回開催するとしたら、いつ頃が良いと思いますか？（複数回答可）



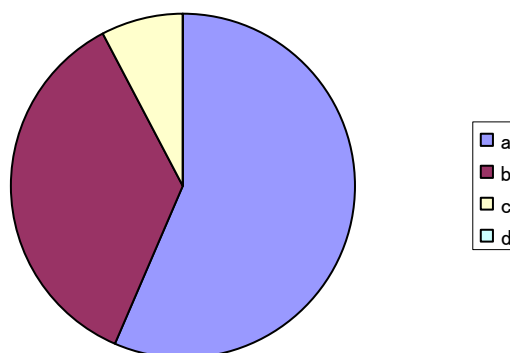
4. 講演内容について

①基礎知識の解説と最近の研究成果の割合についてどう感じましたか？

- a. 今回程度の割合でちょうどいいと思う。
- b. 基礎知識の解説にもっと重点を置いたほうがいいと思う。
- c. 最近の研究成果の解説にもっと重点を置いたほうがいいと思う。
- d. その他（学生のポスター発表の場も設けたらどうか。）

回答	回答数
a	22
b	14
c	3
d	1

4. ①基礎知識と最近の研究成果の割合について

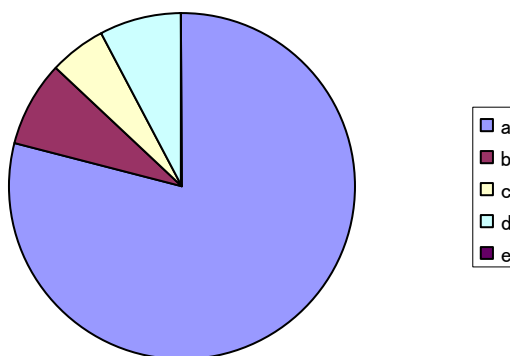


②研究分野に関してどのように感じましたか？

- a. 様々な分野の話しが聞けてよかった。
- b. もっと自分の研究に近い分野の講演を増やして欲しい。
- c. 錯体化学に限定して様々な分野の講演が聞きたい。
- d. 錯体化学に限らず他分野の講演を増やして欲しい。
- e. その他

回答	回答数
a	30
b	3
c	2
d	3
e	0

4. ②研究分野に関して



5. 次回勉強会開催にあたって

取り上げてほしい研究分野や研究テーマ，講師に呼んでほしい先生などのご意見・ご希望がありましたら，お書きください。

- ・無機酸化物
- ・ポリオキシメタレート

6. 「錯体化学若手の会」について

①錯体化学若手の会を，

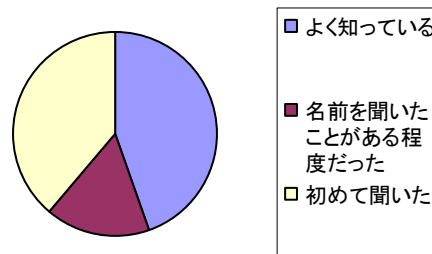
よく知っている

名前を聞いたことがある程度だった

初めて聞いた

回答	回答数
よく知っている	16
名前を聞いたことがある程度だった	6
初めて聞いた	14

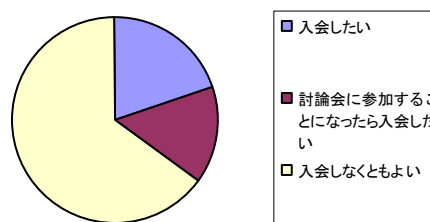
6. ①錯体化学若手の会を



②錯体化学若手の会に入会すると，錯体化学討論会の参加費が 1000 円割引になり，また，独自に発行しているニュースレターの閲覧が可能となりますが，若手の会に，入会したい 討論会に参加することになったら入会したい 入会しなくともよい

回答	回答数
入会したい	4
討論会に参加する時は入会したい	3
入会しなくともよい	13

6. ②若手の会に，



③若手の会についてご意見などありましたらお書きください。

- ・夏の学校はもっと都会で開催できないのか？

総括

今回の勉強会では、東北大学、山形大学、弘前大学から総勢 68 名もの多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。また、錯体化学を専門とする方だけでなく、有機化学や物理化学など他分野をご専門とされている先生方、学生の皆様にもご参加いただいたことで、大変充実した勉強会となったと感じております。

アンケート結果にもあるように、非常に多くの方に良い評価をしていただき、また、様々な分野の話聞いて良かったと感じてくださった方がほとんどでした。一方で、「講演者や質問者用にマイクがあれば良かった」、「学生からの質問が少なかったのが残念だった」などのご意見もあり、次回以降の開催において、まだまだ改善の余地があると感じました。今回お寄せいただいた貴重なご意見は、次回以降の勉強会開催の際には積極的に反映していきたいと考えています。

今回のアンケートでは、最後に「錯体化学若手の会」についての質問をさせていただきました。若手の会について初めて聞いた方が多くいらっしゃいましたが、今回は様々な分野の研究室に所属している方にご出席いただいたためではないかと考えています。北海道・東北地方にはそれほど多くの錯体化学系の研究室がないため、今回の勉強会開催を機に一人でも多くの方に若手の会の存在を知っていただき、コミュニティーの拡大に繋がれば幸いです。

また、次回、第 5 回勉強会の開催についてですが、山形大学の坂本・栗原・金井塚研究室主幹で開催する予定です。アンケート結果から、開催時期は今回と同じく 11 月頃がよいというご意見が最も多かったのですが、同時期に錯体化学討論会が開催予定であることから、時期はずれる可能性が高いかと思われまます。ご都合次第かとは思われまます、次回開催のご連絡をお待ちいただき、ぜひともご参加いただければと思っております。

最後になりますが、今回の勉強会が、皆様の今後の研究活動において少しでも役立つものとなるよう願っております。

錯体化学若手の会北海道・東北支部第 4 回勉強会 世話人
東北大学山下研究室博士課程前期 2 年 熊谷 翔平